

◆「賑わいのある元気なまち」の紹介

まちなかを通る、初瀬街道は、宿場町として発展し、軒を並べた商店が繁栄する町となりました。今も残る初瀬街道のまちなみは、この頃形成されたものと考えられます。

明治時代から昭和の近代化の時代にかけて、これらのまちなみは変貌しましたが、今も初瀬街道沿いには、歴史的な建築形態を有する建物がある程度のまとまりをもって維持・継承されており、中には造り酒屋を示す杉玉のある商家建築などもみられ、来訪者に人気のある老舗となっています。



●初瀬街道のまちなみ

初瀬街道が鍵状に折れ曲がる一の鳥居周辺地区は、初瀬街道と宇流富志禰神社の参道とが重なる結節点として、宇流富志禰神社の一の鳥居、神楮の松、金比羅社及び築瀬水路(暗渠)で構成され、まちなかにおいても特筆できる固有の空間となっています。

この中で、一の鳥居と神楮の松は、中町、元町及び榊町の各通りから目視できるアイストップとなっています。

まちなかは、初瀬街道と名張城址を核として、近鉄大阪線から初瀬街道にかけて広がる、旧城下町の名残りをとどめた名張市の古くからの中心市街地です。

近鉄名張駅西口は、このまちなかの広域的な玄関口となっています。



●近鉄名張駅西口



●かつては多くの旅人で賑わった一の鳥居

「賑わいのある元気なまち」につながる取組

◆^{なばり}隠街道市（平成18年から継続実施）



◆やなせ宿での催しなど（平成20年度実施）

※お雛様(やなせ宿)



※お餅つき(やなせ宿)



※和菓子の食べ歩き(まちなかの老舗)

なばり町和菓子の食べ歩き

1. 【矢の伊老舗】



牧野助膳2個

当主で八代目という老舗。江戸時代、当主の牧野助膳が遠く人々に口福を届けたのが牧野助膳の由来です。酒粕の香りをきかせしみて下さい。

◆新治町 ◆木曜日定休



9. 【名張焼餅】



名張焼餅1個

こしあんを薄皮で包んだ田舎焼餅の伝統を継ぐ「名張焼餅」。毎朝の朝から作り、夕方には先売するという名張焼餅で、店内でお茶を飲みながらゆっくりと味わってください。

◆平尾 ◆年中無休

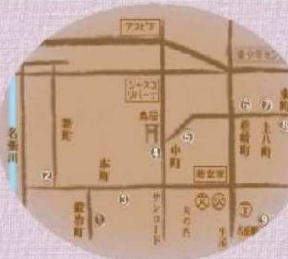
2. 【星交新町】



桔梗の舞1個

新町店は明治時代の町家をそのまま主とした店舗。桔梗の舞は地場産品を使用した「かたやき」の味です。

◆新町店 ◆毎月7日、8日のみ営業 ※その他は名張焼餅本店へ



8. 【名張焼餅(かたやき)】



かたやき3枚

小麦粉とを糖を原料に40分かけて手作業で焼き上げる伊勢名物「かたやき」。焼いている時(平日)には焼きあがりを試食出来るという「おまけ」も。

◆東町 ◆年中無休